

2020年度 内部質保証報告

PLAN(計画)	DO(実施)		CHECK(評価)		ACITON(次への改善)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。	実施状況 (実施率)	C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。		A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる
①-1学部・研究科および全学委員会のPDCAサイクルを拡大内部質保証委員会、自己点検委員会ともに点検を行う。 ①-2教学IR委員会へPDCA-KPIおよびベンチマーク値の比較依頼を行う	①-1学部・研究科および全学委員会のPDCAサイクルを拡大内部質保証委員会、自己点検委員会ともに点検を行う。 ①-2教学IR委員会へPDCA-KPIおよびベンチマーク値の比較依頼を行う	①-1 100% ①-2 100%	大学基準協会から、内部質保証を中心とした第3期認証評価において合を得た。	改訂変更実施したためとした。自己点検評価についての公表を毎年行うことについては大学基準協会の報告書に明記した。	自己点検評価についての公表を毎年行う。
②-1全学FDの実施 ②-2教員、職員を対象にしたオンラインFDの実施	②-1全学FDの実施 年3回実施する。 ②-2教員、職員を対象にしたオンラインFDの実施 6月から毎月実施予定	②-1 100% ②-2 100%	②-1全学FDの実施 2020年9月17日、2020年12月25日、2021年3月16日に施行した。 ②-2教員、職員を対象にしたオンラインFDの実施 2020年6月10日、7月29日、10月21日、11月11日、12月16日、2021年1月27日、2月24日に施行した。	毎回100名以上参加が施行された。	今年度と同様に来年度実行するが、アンケート結果を参考にする。参加人数が把握できていなかったので来年度は毎回参加人を把握する。
③外部評価懇談会の実施	③2020年9月17日に施行した。	③ 100%	③2020年9月17日に施行した。外部評価委員からは高評価を頂き、大学ホームページに掲載した。	左記のためとした。	今年度と同様に来年度実行する。
④教学関連委員会との統合準備と年度内ベンチマーク委員会との併合	④教学関連委員会との統合準備と年度内ベンチマーク委員会との併合を完了した。	④ 100%	④教学関連委員会との統合準備と組織改革の一部となるため、拡大内部質保証委員会、ベンチマーク委員会規程、内部質保証委員会規程、およびその内規、自己点検委員会規程などの規定変更を要したが、実質的に改訂を行って対応した。	実行できたことにより了とした。	新規 内部質保証委員会に移行。

2021年度 全学内部質保証

PLAN(計画)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。
①-1学部・研究科および全学委員会のPDCAサイクルを拡大内部質保証委員会、自己点検委員会ともに点検を行う。 ①-2自己点検報告書の公表
②-1全学FDの実施 ②-2教員、職員を対象にしたオンラインFDの実施
③外部評価懇談会の実施